

—各学部の専門性を生かし企業を取り巻く課題に提案— 7/4(土)「学部横断型課題解決プロジェクト」最終報告会を開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、「学部横断型課題解決プロジェクト」（通称：学部横断型ゼミナール・プロジェクト）の春学期の最終報告会を7月4日（土）に開催いたします。

本プロジェクトでは、異なる学部の学生が一つのチームを作り、各学部の専門性を生かしながら調査・分析します。課題は、「課題提供企業を取り巻く課題への提案」です。最終報告会では、企業と社会との関わりに着目し、現代社会の仕組みや課題、さらには環境との関係について整理した小冊子を作成し、企業の方や聴講者に提示します。また、企業の活動を通じてどのような未来を創造していくべきかについての提案をまとめ、発表いたします。

なお、最終報告会は、本学会場およびオンライン配信のハイブリッド方式で開催し、高校生や一般の方も聴講いただけます。ぜひご参加ください。

学部横断型課題解決プロジェクト 最終報告会

概要

日時：2026年7月4日（土）10:00～12:15

会場：武蔵大学1号館1階1101教室・オンライン会場

発表者：学部横断型ゼミナール・プロジェクト履修生

担当教員：内藤永 教授（リベラルアーツ&サイエンス教育センター）、

笠原一絵 特別招聘助教（経済学部）



2025年度秋学期最終報告会の様子

申込方法

対面参加の場合は事前予約不要、入退場自由です。オンライン聴講の場合は下記 URL から事前申し込み登録が必要です。申し込み完了後、ミーティング ID と PW をご連絡いたします。

https://www.musashi.ac.jp/education/seminar/seminar_project/application.html

オンライン参加申込締め切り：7月3日（金）16:00

タイムスケジュール

10:00～10:05 開会・来賓のご紹介

10:05～10:20 担当教員によるプロジェクトの概要説明

10:20～10:25 学内関係者挨拶

10:30～11:15 Aチーム発表

11:15～11:25 休憩

11:25～12:10 Bチーム発表

12:10～12:15 全体の講評

*各チームの発表時間は30分、質疑応答・学生からのコメントが15分となります。

*進行によっては、多少時間が前後する場合がございますので、ご了承ください。

2026年度春学期課題提供企業

アイリスオーヤマ株式会社 (<https://www.irisohyama.co.jp/>)

【企業概要】家電・寝具・インテリア・園芸用品・ペット用品など、生活用品の企画、製造、販売。



2025年度秋学期履修生たちが作成した報告書

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL：03-5984-3813 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

2027年4月からスタートする新カリキュラムでは、データサイエンス系の新専攻として社会学部に「情報社会デザイン専攻」、国際教養学部「ビジネスデータサイエンス専攻」を設置予定。さらに国際教養学部の経済経営学専攻は学びを広げ、「経済・経営・国際関係専攻」へと名称を変更予定。

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1